

■ 2026年度 事業計画 にじいろのパレット（共同生活援助）

はじめに	パレット開所から7年。8年目に突入です。昨年度は幸いにも大きな病気、大きな事故などはなく1年を過ごす事ができました。多少の気持ちの上下はあっても大きく崩れることなく、基本的には落ち着いて過ごせています。
事業所の基本方針	安心して楽しく暮らせる生活を送れるようにします。
事業所運営	将来のあるべき姿を見据え、利用者個々の特性を理解し、家（ホーム）ではいつも変わらない安心できる暮らしを提供できるようにします。
利用者支援	みんながみんなと安心して生活が送れるように、意思決定支援の定義に基づき支援していきます。今ご家族が対応をしている通院も、職員体制の確保が出来れば、徐々に職員へと移行をしていきたいと思っています。
今年度重点目標	祝日はパレットでみんな一緒に昼食を楽しみ、一日のんびり過ごすことも楽しみの一つになっています。それぞれの楽しみ方もありますが、職員も様々な支援方法を模索し、メンバー全員の楽しみも不安な気持ちも受け止められる環境、支援体制のステップアップを目指しています。
活動計画	行事などは引き続き感染症の流行等に配慮し、職員体制の安定確保が出来次第、計画していきたいと思っています。個別に予定を説明しながら対応し、安心して過ごせるように取り組みます。
豊かな生活を送るための取り組み	現状では限られた選択肢ではありますが、ドライブや散歩など気分転換をしつつ、ホームでのんびり過ごすだけの時間も続けて、併せてそれぞれが希望する休日の過ごし方も叶えていければと思っています。
その他防災対策	避難訓練を年3回行います。緊急時の連絡体制などを築き、グループホーム職員だけでなく、法人全体でバックアップしてもらえるようにしていきます。
利用者の状況	利用者：男性4名 32歳～44歳

職員の状況	職員：非常勤1名 支援員パート2名 調理パート1名 12月に職員1名退職し、1月にパートから1名が非常勤になりました。 ほっとホットの職員が1名ヘルプでシフトを組んでいます。支援員のシフトに余裕がないため、スタッフの育成、確保が必要。
-------	--